
2018年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2018年7月期第2四半期決算概況
- III. 2018年7月期通期業績見通し
- IV. 中期経営計画ならびに
経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

セグメント別事業概要

包装機械

主要品目

包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



・包装関連機器等

ゼネラルパッカー

(7月決算)

蘇州日技通用包装機械(中国)

ロボット応用システムの仕入

その他関係会社;ワイ・イー・データ(安川電機子会社)

2016/3月設立

生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

(7月決算)

※12月決算

連結第2四半期 : 6月-12月

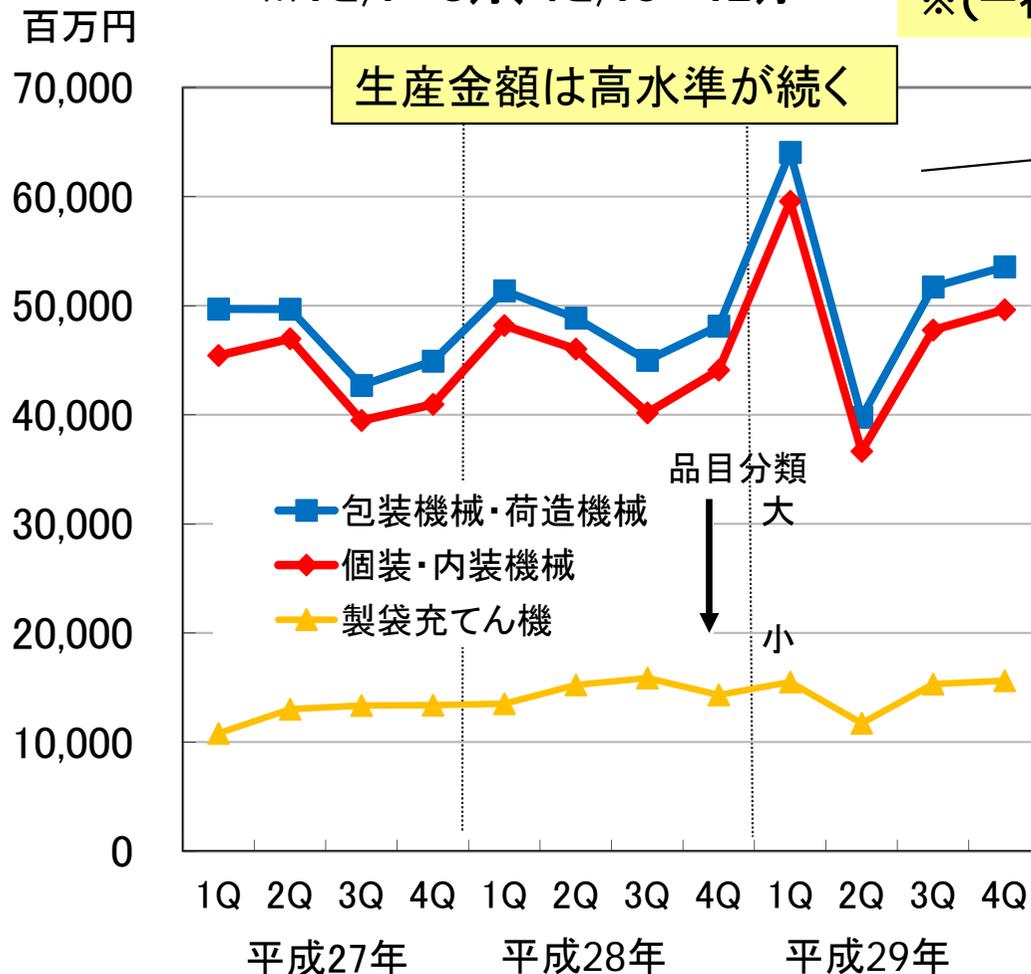
連結上必要な調整を行っています。



事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」
(平成27年1Q～平成29年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は堅調に推移
 - 輸出は、アジア・北米地区向けが好調に推移
 - 業界全体の平成29年度(H29.4～H30.3)の生産高は、4,300億円を超える見通し(8年連続プラス)
- ※(一社)日本包装機械工業会 生産高統計

平成29年計	生産金額
全体	前年比8.4%増
個装・内装機械	前年比8.5%増
製袋充てん機	前年比1.4%減

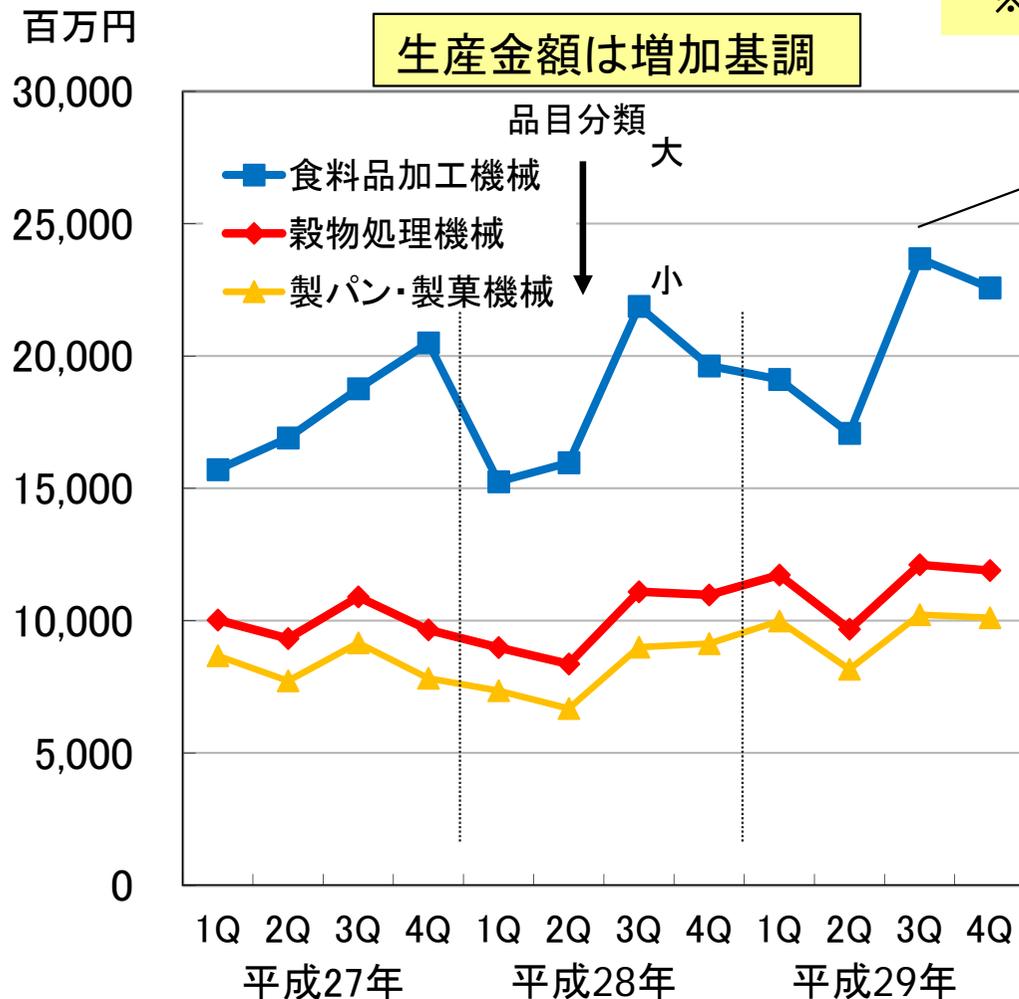
当社の主要対象市場

- ## <当社の動向>
- 国内市場では、食品業界向けが堅調に推移し、上期機械受注高は、前年同期を上回る。
 - 海外市場では、ペットフード向けの増加により、上期機械受注高は、前年同期を大幅に上回る。

事業環境 - 食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「食料品加工機械の生産金額推移」
(平成27年1Q～平成29年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<食品機械業界>

- 国内の食品機械需要は回復基調
- 輸出は、アジア地区向けが減少基調で推移
- 業界全体の平成29年(H29.1～H29.12)の販売額は、前年を上回る見通し

※(一社)日本食品機械工業会 販売額統計

平成29年計	生産金額
全体	前年比13.6%増
穀物処理機械	前年比15.3%増
製パン・製菓機械	前年比19.8%増

当社子会社の主要対象市場

<当社子会社の動向>

チョコレート製造機械の専門メーカー

- 国内菓子メーカーの工場新設、設備増設など、大型の設備投資需要があり
- 大型プラントの受注が確保できたことから、上期機械受注高は、前年同期を大幅に上回る。

II. 2018年7月期 第2四半期決算概況

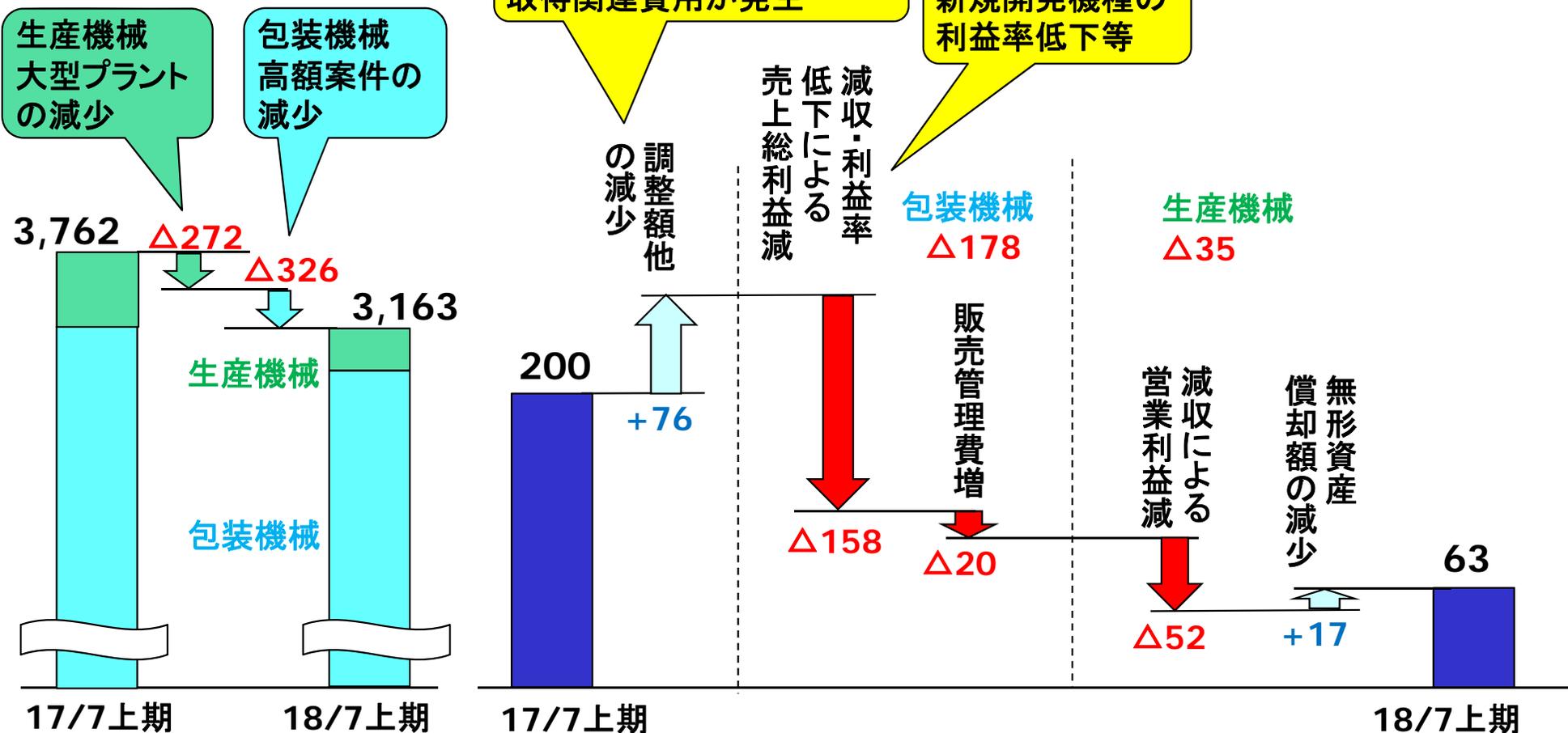
2018年7月期 第2四半期決算のポイント

※案件繰越と総利益率低下等により、第2四半期業績予想は、期初予想から下方修正しています。(2017/12/1公表)

売上高
599百万円の減収

営業利益増減要因(前年同期比) 137百万円の減益

(単位:百万円)



業績修正予想比; 46百万円減収、11百万円増益

2018年7月期第2四半期累計 連結決算概要

(単位:百万円、%)

	2017年7月期 2Q累計		2018年7月期 2Q累計		前年同期比		2018年7月期 2Q累計計画 ※		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,762	100.0	3,163	100.0	△599	△15.9	3,210	△46	△1.5
売上総利益	920	24.5	721	22.8	△199	△21.6	701	+20	+2.8
営業利益	200	5.3	63	2.0	△137	△68.5	52	+11	+21.2
経常利益	203	5.4	66	2.1	△137	△67.5	53	+13	+24.5
四半期純利益	118	3.2	46	1.5	△72	△60.8	37	+9	+25.9

※2018年7月期2Q累計計画は、2017年12月1日公表の業績予想修正時の数値です。

前年同期比:減収・減益

- 売上総利益は、減収により、前年同期比199百万円減少。
売上総利益率は、包装機械の利益率低下により、前年同期から低下。
- 営業利益率は、前年同期比3.3ポイント低下し2.0%。
- 経常利益は、修正計画を上回ったものの、前年同期比137百万円減益。
- 四半期純利益は、修正計画を上回ったものの、前年同期比72百万円減益。

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2017年7月期 2Q累計 ※1		2018年7月期 2Q累計		前年同期比		2018年7月期 2Q累計計画 ※2		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,762		3,163		△599	△15.9	3,210	△46	△1.5
包装機械	3,060		2,734		△326	△10.7	2,800	△35	△2.3
生産機械	701		431		△270	△38.5	410	+21	+5.2
※3 調整額	-		△2		△2	-	-	-	-
営業利益	200	5.3	63	2.0	△137	△68.5	52	+11	+21.2
包装機械	237	7.8	59	2.2	△178	△74.9	49	+10	+20.7
生産機械	38	5.5	3	0.8	△35	△91.6	2	+0	+19.9
調整額	△75	-	0	-	+76	-	-		

※1 生産機械;2017年7月期2Q 9月-1月 5ヶ月累計。

※2 2018年7月期2Q累計計画は、2017年12月1日公表の業績予想修正時の数値です。

※3 セグメント間の内部売上高の調整。

【包装機械】 減少・減益、利益率も低下。修正計画に対して減収

【生産機械】 減収・減益、無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率0.8%

【営業利益 調整額】 2017年7月期 2Q累計;企業結合に係る取得関連費用

2018年7月期 2Q累計;セグメント間取引の消去(313千円)

セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2017年7月期 2Q累計※1	2018年7月期 2Q累計	前年同期比増減		2018年7月期 2Q累計計画※2
			金額	率	
包装機械	3,060	2,734	△326	△10.7	2,800
給袋自動包装機	1,605	1,570	△34	△2.2	1,660
製袋自動包装機	234	0	△234	-	0
包装関連機器等	537	556	+18	+3.5	510
保守消耗部品その他	683	607	△75	△11.1	630
生産機械	701	431	△270	△38.5	410
製菓機械	655	357	△297	△45.4	340
保守消耗部品その他	46	73	+27	+59.3	70
合計	3,762	※3 3,163	△599	△15.9	3,210

※1 生産機械;2017年7月期2Q 9月-1月 5ヶ月累計。

※2 2018年7月期2Q累計計画は、2017年12月1日公表の業績予想修正時の数値です。

※3 合計は、セグメント間の内部売上高の調整後。

【包装機械】

◇高価格機種(主に製袋自動包装機)の実績が減少

【生産機械】

◇大型プラントの実績が減少

▶ 修正計画比 △66百万円
給袋自動包装機が減少(下期への繰越)

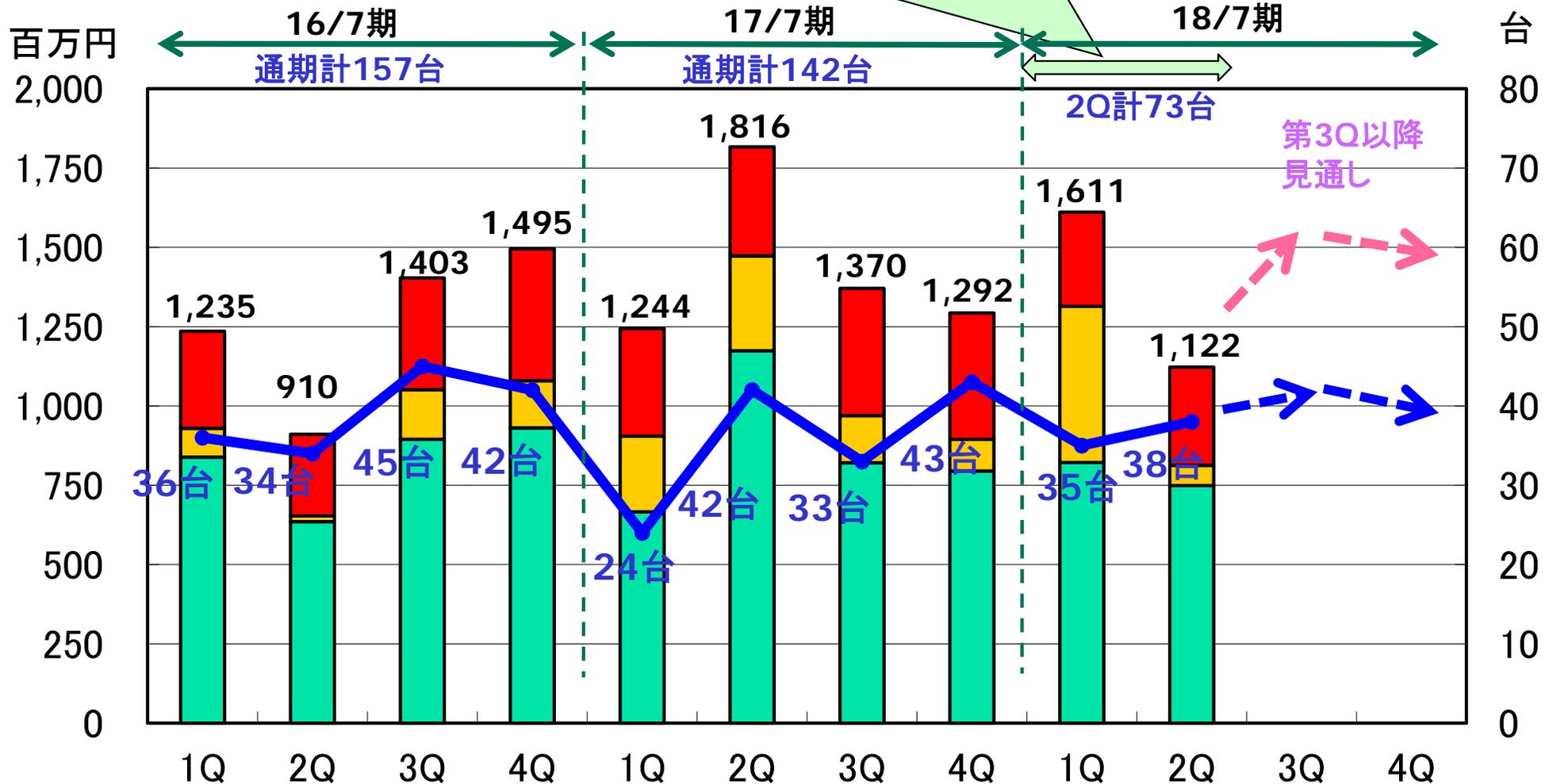
【包装機械】 四半期売上高

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比+7台

自社機売上高 前年同期比△269百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

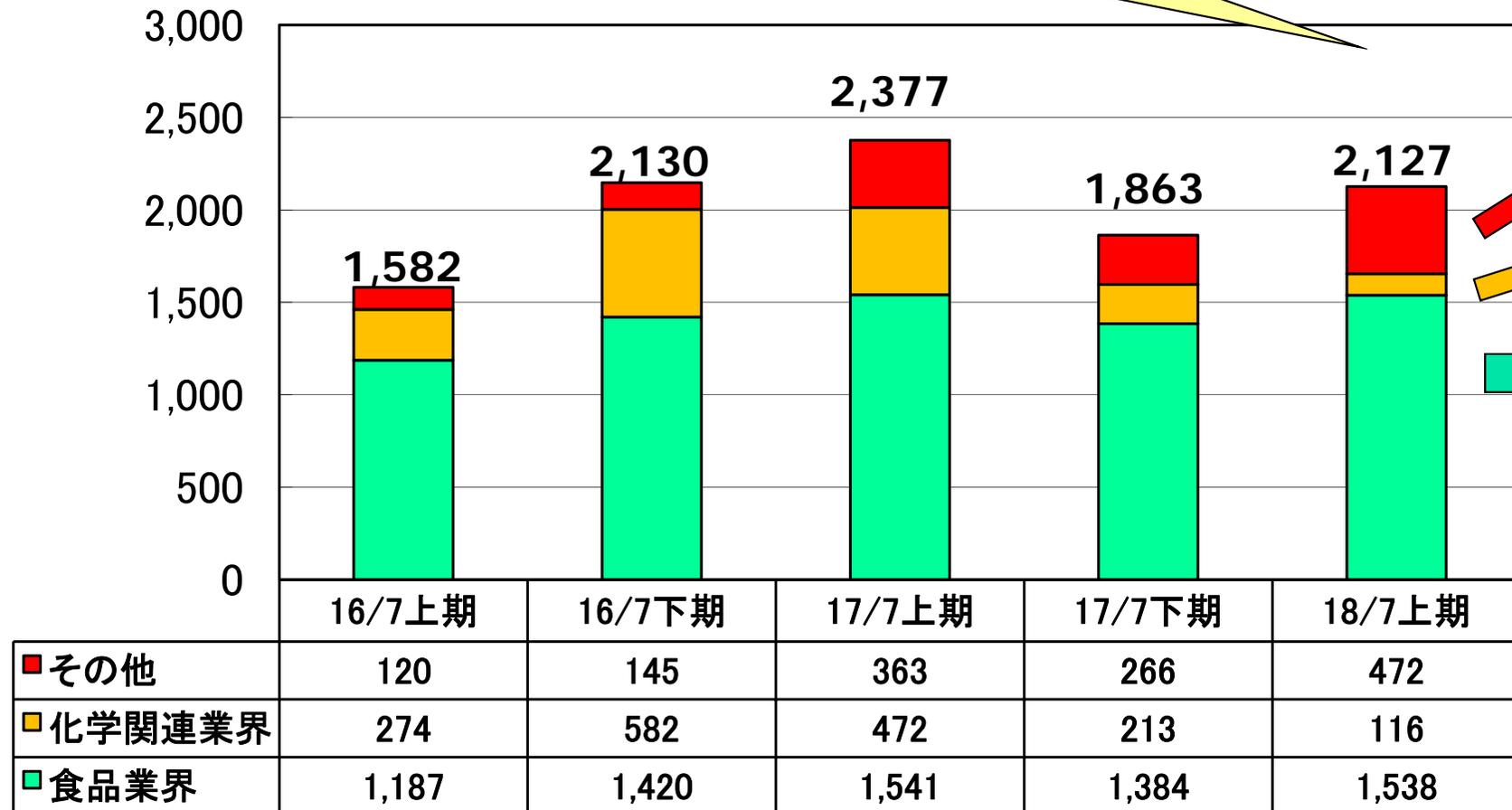
- 自社機合計
- 包装関連機器等
- 保守消耗部品
- 自社機販売台数(右軸)

(注)16/7期は単体、17/7期以降は連結決算

【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

化学関連業界の減少により、機械売上高は前年同期比10.5%減

百万円	<化学関連業界> 医療分野、健康食品等	18/7期上期実績		18/7下期見通し(上期比) 化学関連・その他が増加 全体で上期より大幅に増加
	<その他> ペットフード、種苗等	食品業界	前年同期比 0.2%減	
		化学関連業界	前年同期比 75.3%減	
		その他	前年同期比 30.1%増	



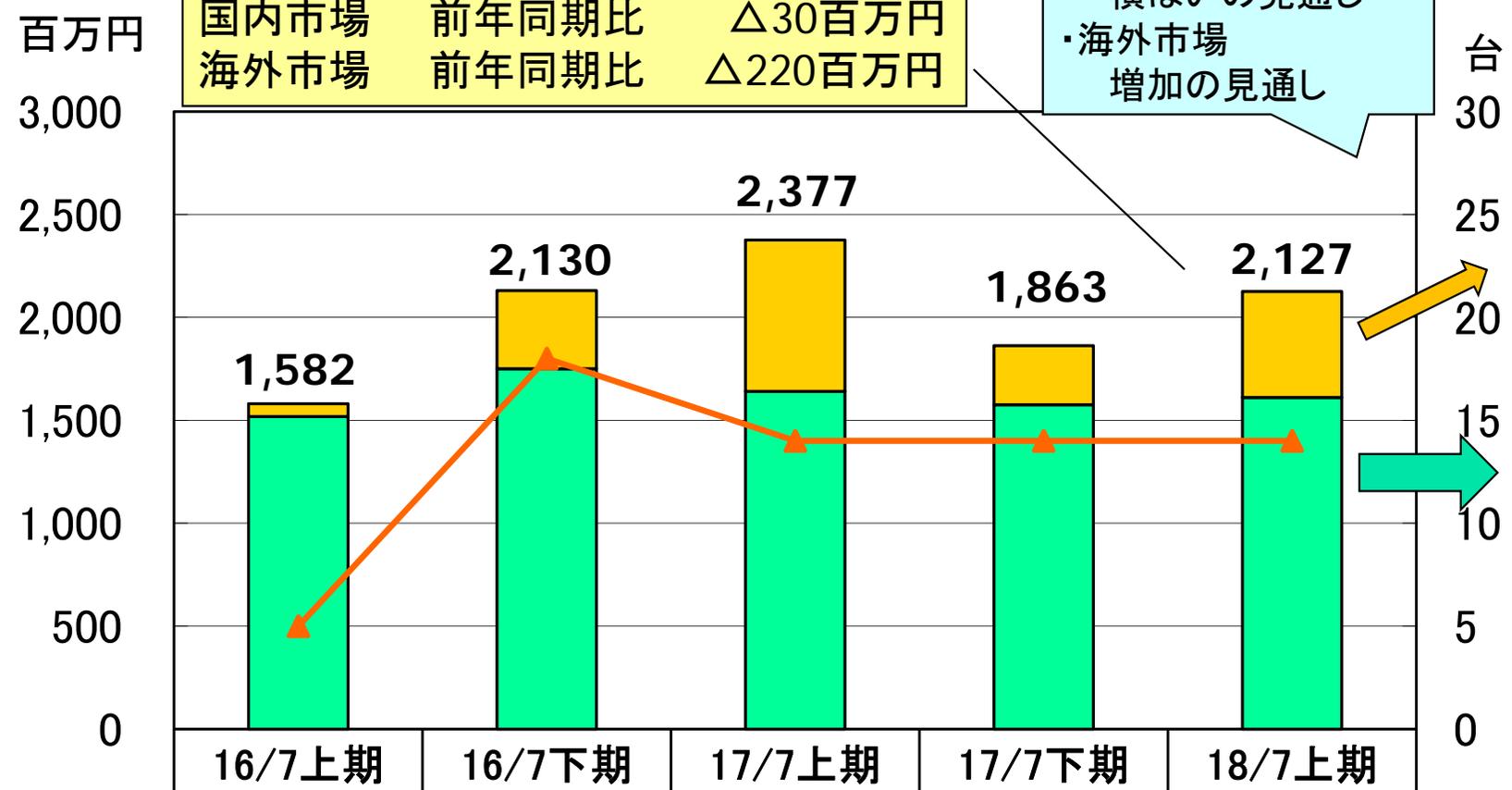
(注)17/7期は単体、17/7期以降は連結決算

【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)

18/7期上期実績
 国内市場 前年同期比 $\Delta 30$ 百万円
 海外市場 前年同期比 $\Delta 220$ 百万円

18/7下期(上期比)
 ・国内市場 横ばいの見通し
 ・海外市場 増加の見通し



■ 海外市場	62	379	735	287	515
■ 国内市場	1,519	1,751	1,641	1,576	1,611
▲ 海外向け台数	5	18	14	14	14

(自社機)

(注)16/7期は単体、17/7期以降は連結決算

【包装機械】海外市場 エンユーザー地域別実績

※自社機台数

海外納入実績(16/7期～18/7期上期)

欧州 <ポーランド・フランス・ロシア>
17/7期 1台

アジア—ASEAN 除く
<中国・韓国・台湾・オーストラリア含む>
16/7期 6台
17/7期 11台
18/7上期 7台

北米・南米 <アメリカ・ブラジル・アルゼンチン>
16/7期 1台
17/7期 3台
18/7上期 2台

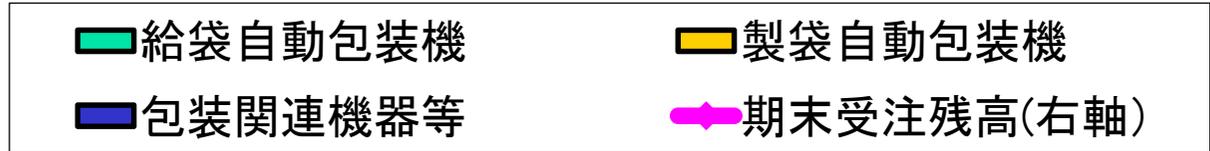
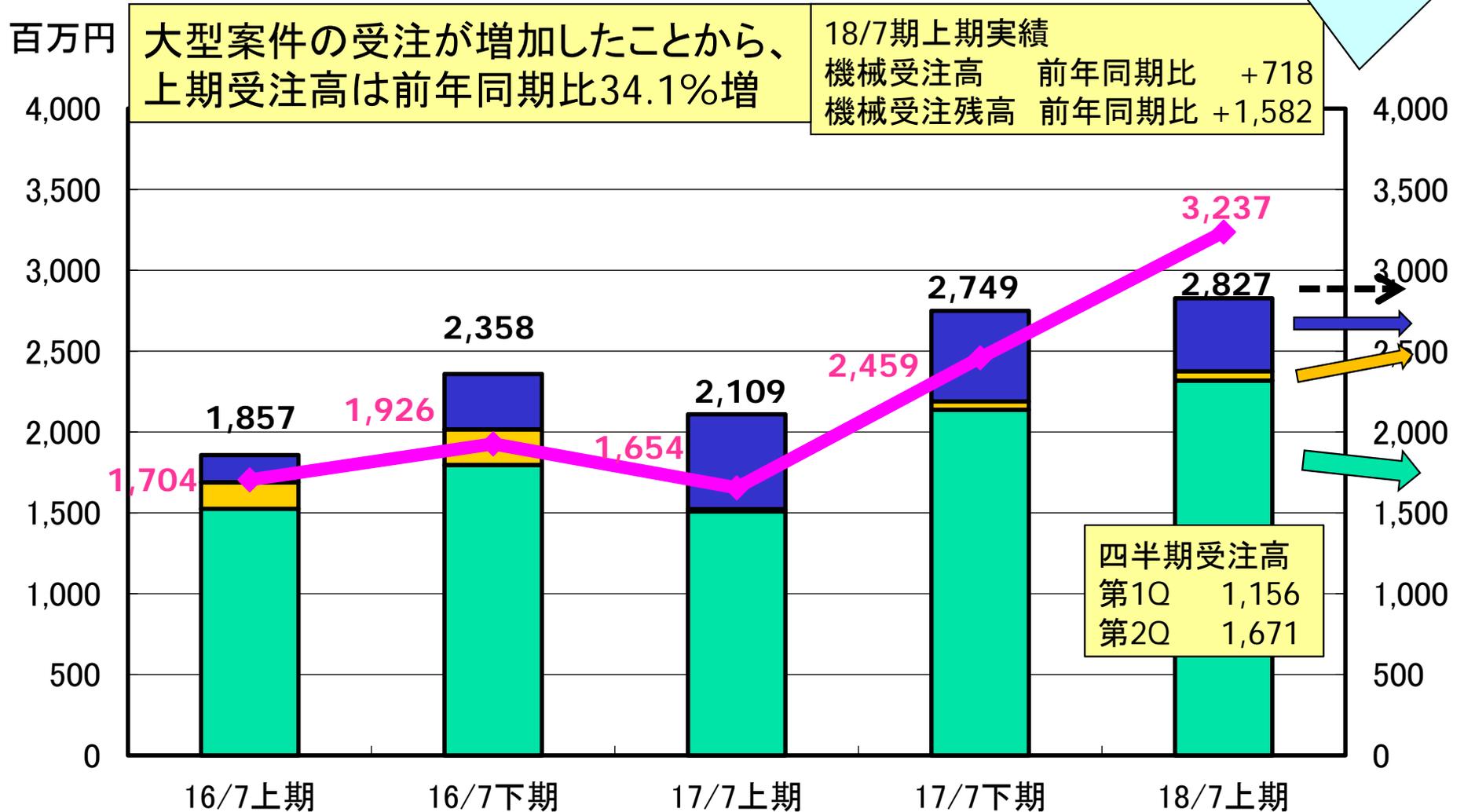
ASEAN <タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア>
16/7期 16台
17/7期 13台
18/7上期 5台

<18/7下期予定>

フランス、ロシア、アメリカ、中国、韓国、インドネシア 等

【包装機械】機械の受注動向

<18/7下期計画>
高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す

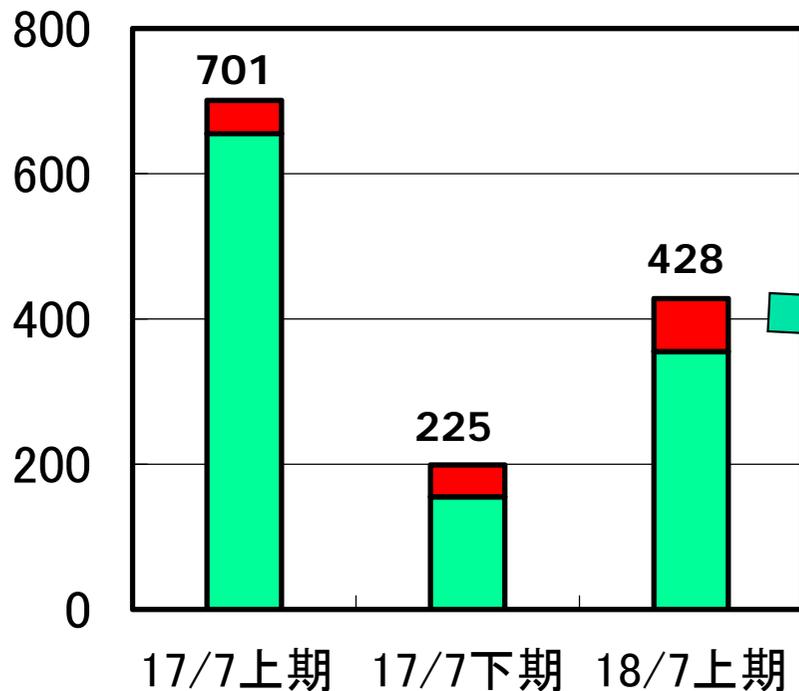


(注)16/7期は単体、17/7期以降は連結決算

【生産機械】 売上高の動向

大型案件の減少により、売上高は前年同期比38.5%減

百万円



18/7上期実績 (参考)

製菓機械 前年同期比 $\Delta 297$

・機械売上件数は、増加
(小額機器の台数が増加)

保守消耗部品 前年同期比 +27

18/7下期計画
微減の見通し

■ 製菓機械 ■ 保守消耗部品

大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

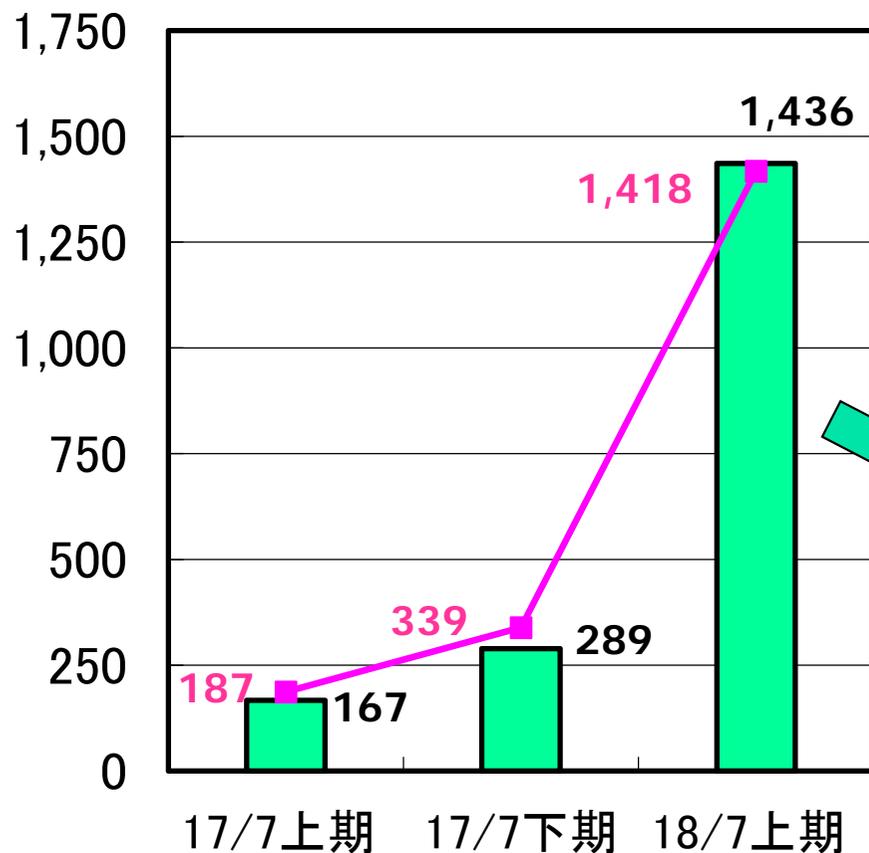
※17/7上期

9-1月 5ヶ月累計

【生産機械】 機械の受注動向

大型プラントの受注により、大幅に増加

百万円



■ 受注高 ■ 期末受注残高

18/7上期実績 (参考)

機械受注高 前年同期比 +1,269

機械受注残高 前年同期比 +1,231

海外市場 1件(日系海外工場)

四半期受注高

第1Q 1,167

第2Q 269

<18/7下期計画>

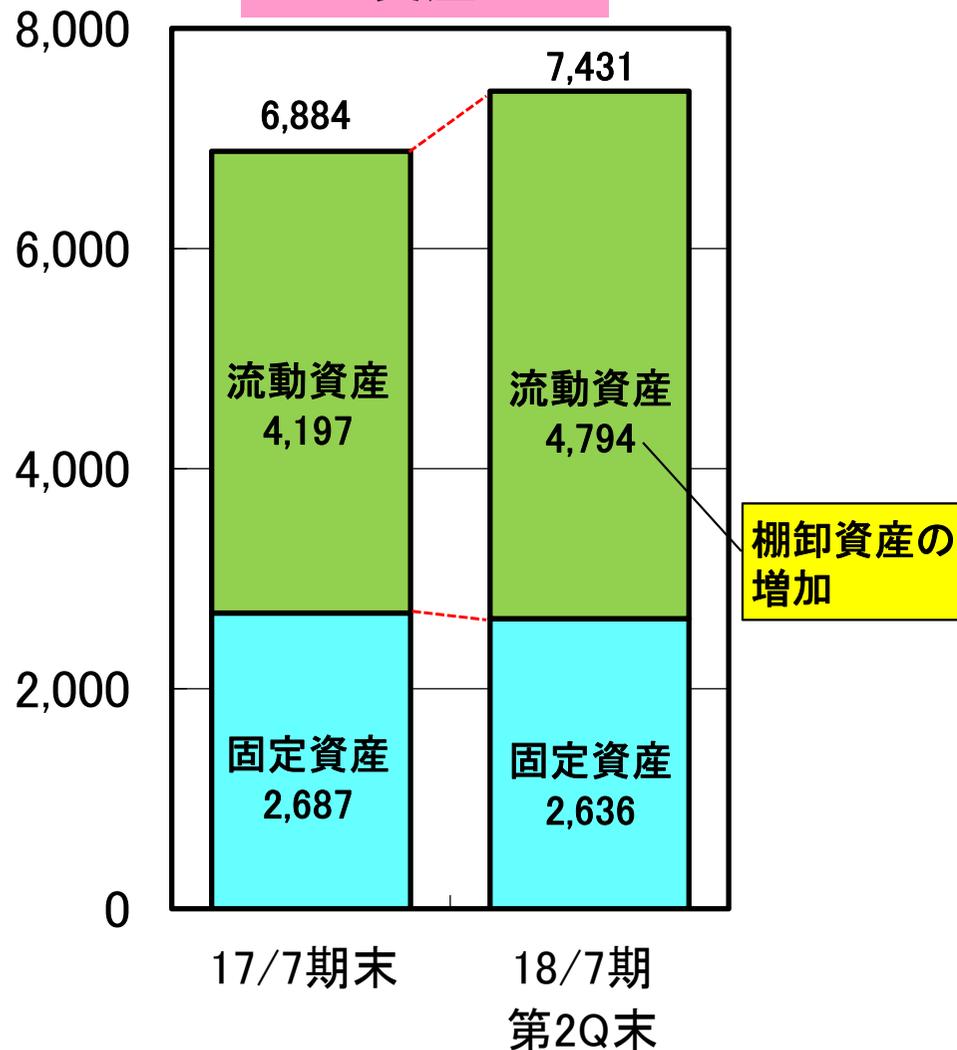
大型案件の減少で、上期比減少の見込み
高額案件の件数増加を目指す

※17/7上期
9-1月 5ヶ月累計

連結B/S 概況

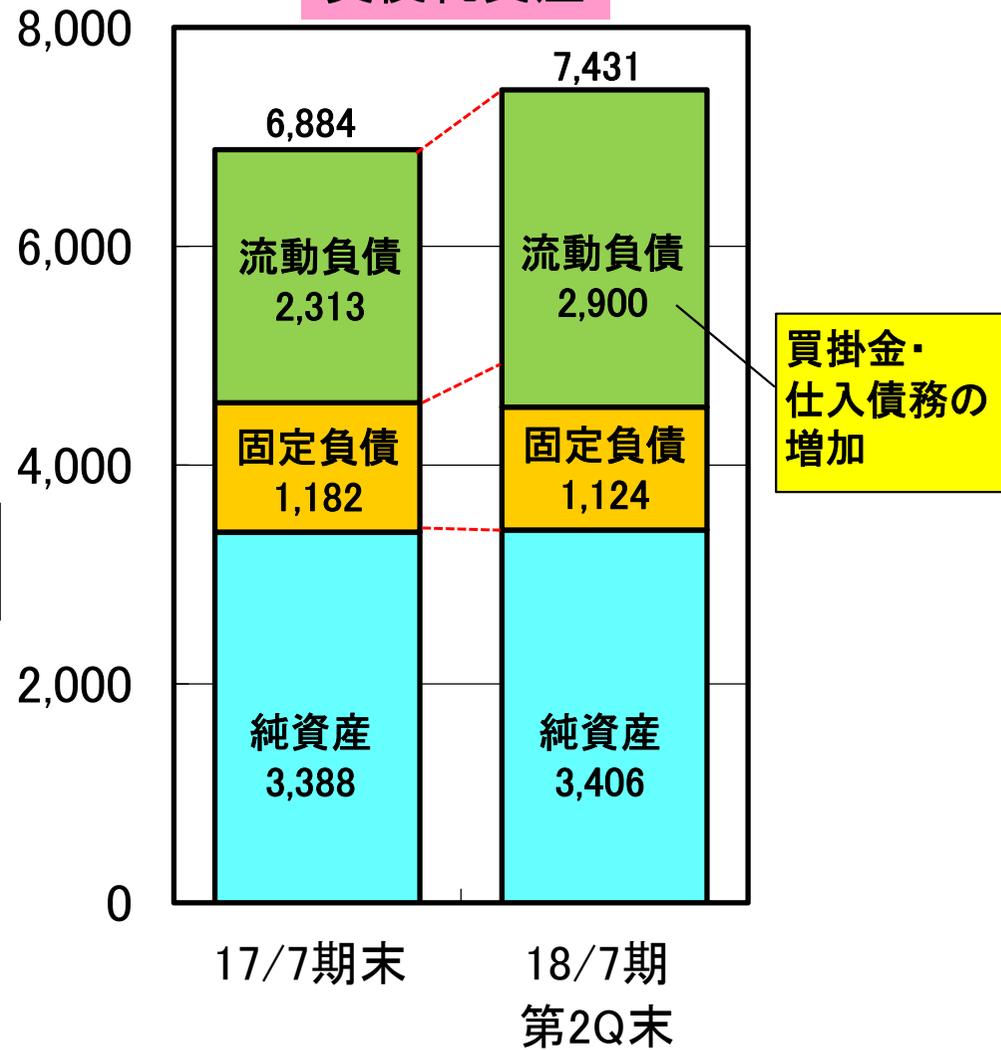
百万円

資産



百万円

負債純資産



自己資本比率; 49.2% 45.8%

Ⅲ. 2018年7月期 通期業績見通し

2018年7月期連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期 ※		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	6,651	100.0	6,700	100.0	+48	+0.7
売上総利益	1,730	26.0	1,624	24.2	△106	△6.1
営業利益	293	4.4	240	3.6	△53	△18.4
経常利益	297	4.5	242	3.6	△55	△18.6
当期純利益	188	2.8	166	2.5	△22	△12.1

※2018年7月期予想は、2017年12月1日公表の業績予想修正時の数値です。

増収・減益

- 包装機械の増収により、売上高は前期比0.7%増の67億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比1.8ポイント低下し24.2%
- 営業利益率は、前期比0.8ポイント低下し3.6%
- 経常利益は、前期比55百万円減の242百万円を計画
- 当期純利益は、前期比22百万円減

2018年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	6,651		6,700		+48	+0.7
包装機械	5,724		5,900		+175	+3.1
生産機械	927		800		△127	△13.7
営業利益	293	4.4	240	3.6	△53	△18.4
包装機械	370	6.5	235	4.0	△135	△36.5
生産機械	△0	-	5	0.7	+5	-
調整額	△75	-	0	-	+76	-

【包装機械】 増収・減益、売上総利益の減少により、利益率は前期より低下

【生産機械】 減収・増益、無形資産償却額の減少により、黒字化

【営業利益 調整額】 2017年7月期;企業結合に係る取得関連費用

2018年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	5,724	86.1	5,900	88.1	+175	+3.1
給袋自動包装機	3,221	48.5	3,530	52.7	+308	+9.6
製袋自動包装機	234	3.5	110	1.6	△124	△53.1
包装関連機器等	785	11.8	1,020	15.2	+234	+29.9
保守消耗部品その他	1,482	22.3	1,240	18.5	△242	△16.4
生産機械	927	13.9	800	11.9	△127	△13.7
製菓機械	792	11.9	665	9.9	△127	△16.1
保守消耗部品その他	134	2.0	135	2.0	+0	+0.3
合計	6,651	100.0	6,700	100.0	+48	+0.7

前期比 : +48百万円、+0.7%

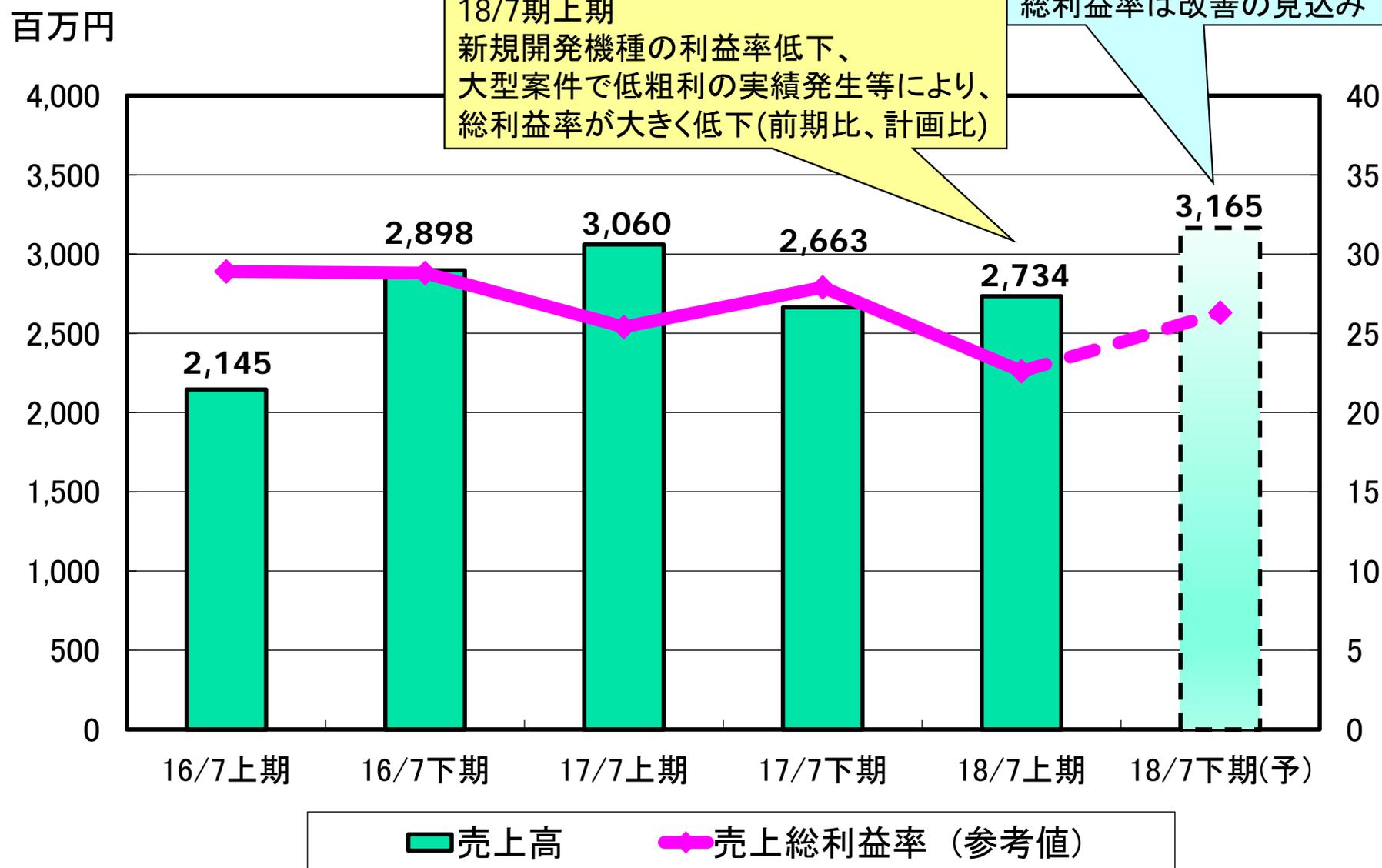
【包装機械】 給袋自動包装機等の増加により、増収

◇高価格機種の販売台数が増加(下期に集中)

【生産機械】 大型プラントの減少により、減収

【包装機械】下期業績予想

＜18/7下期見通し＞
新規開発機種の利益率向上、
低粗利案件の減少等により、
総利益率は改善の見込み



(注)16/7期は単体、17/7期以降は連結決算

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2015/7期 (非連結)	2016/7期 (非連結)	2017/7期 (連結)	2018/7期予想 (連結)
中間配当 ※	20.00円	17.50円	20.00円	20.00円
期末配当 ※	25.00円	27.00円	20.00円	20.00円
年間配当 ※	45.00円	44.50円	40.00円	40.00円
当期純利益／株 ※	126.28円	130.63円	106.27円	93.40円
配当性向	35.6%	34.1%	37.6%	42.8%
DOE	2.6%	2.5%	2.1%	2.0%

※2016年2月1日付で、5株につき1株の株式併合を実施
配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した数値に遡及修正しています。

IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況

第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)

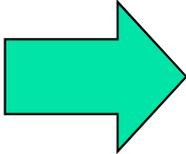
◆中期経営ビジョン

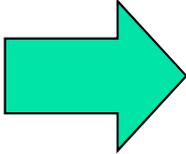
連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

第4次中計実績

■連結経営目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高経常利益率	4.5%		6.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.3%		6.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%		8.0%以上

■連結業績目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高	6,651百万円		7,700百万円
経常利益	297百万円		475百万円
当期純利益	188百万円		320百万円

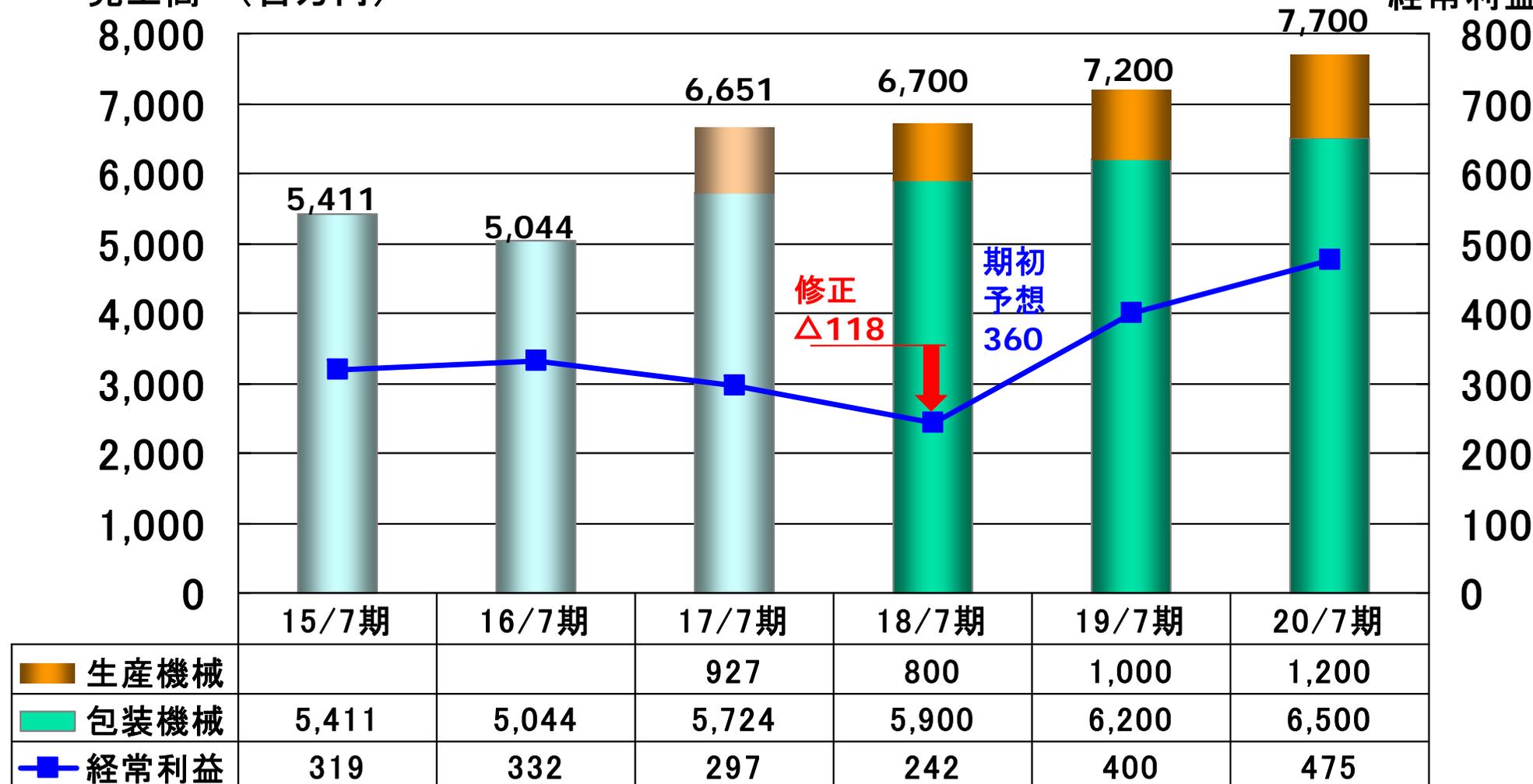
業績計画

第2期以降の数値については、事業環境と業績動向を踏まえて、ローリングする場合あり

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益



← 第5次計画 →

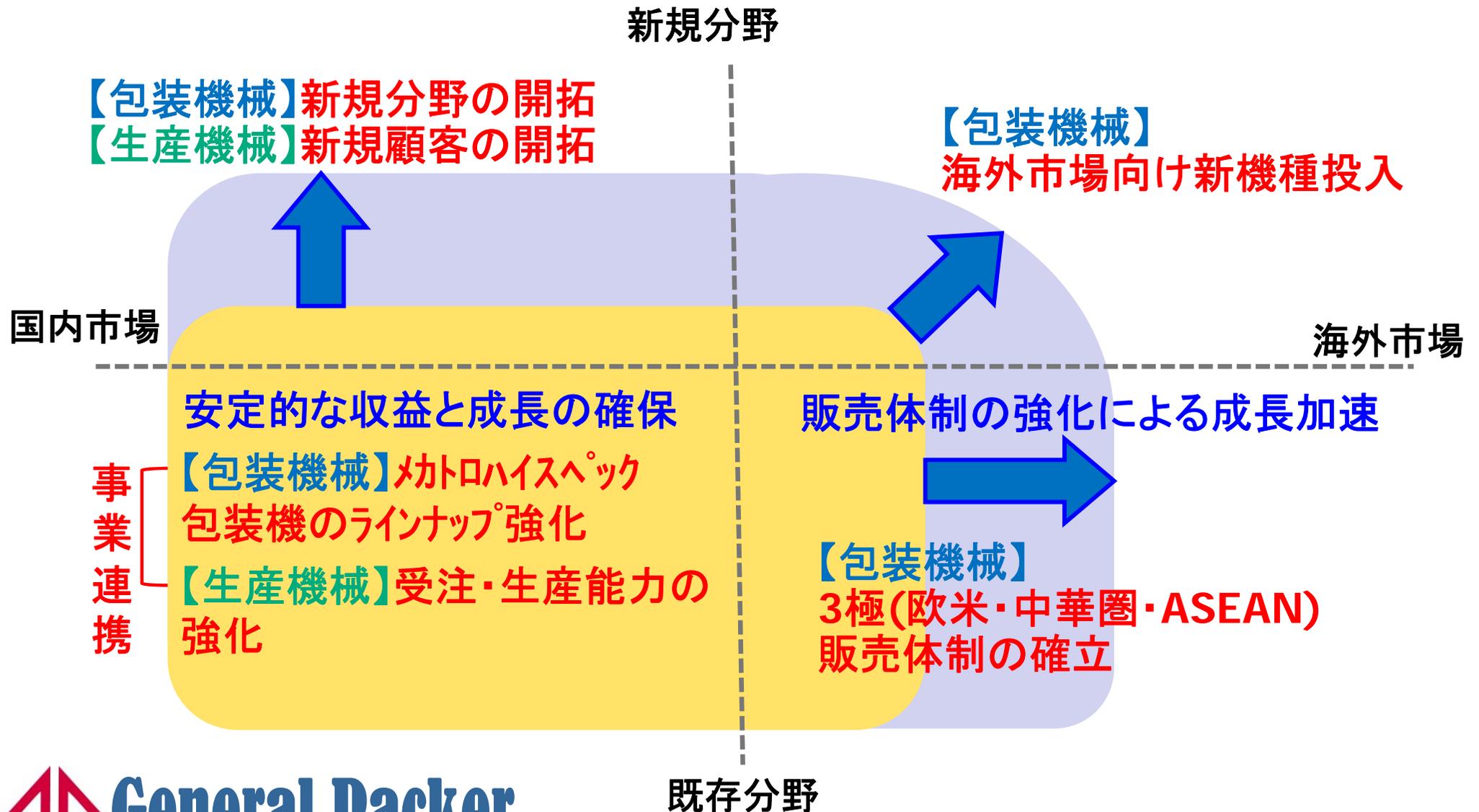
※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

事業計画モデル(第5次中計)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期予想	19/7期計画	20/7期計画
【包装機械】	5,724	5,900	6,200	6,500
内;国内市場(機械)	3,218	3,160	3,300	3,400
内;海外市場(機械)	1,022	1,500	1,600	1,800
【生産機械】	927	800	1,000	1,200
内;製菓機械	792	665	860	1,055
合計	6,651	6,700	7,200	7,700

基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率20%以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

【包装機械】販売戦略

国内市場; 安定的な収益と成長の確保

■メカトロハイスペック包装機の拡販

- ・高機能給袋自動包装機 GP-M3000型
受注は好調に推移
- ・シリーズ機種の販売開始 GP-M3550型 (高速充填包装)
18/7期上期 受注実績 2台

■自社包装機受注

18/7期上期 受注高 14.1億円(前年同期比 2.9億円増)
受注台数 60台(前年同期比 9台増)

ソリューションビジネスの拡大

■新規納入先の開拓

18/7期上期 受注実績2社

■高額システム(30百万円以上)の受注実績

	16/7期	17/7期	18/7期上期
受注件数	4件	11件	3件
業種	食品(2件)、 健康食品(2件)	食品(9件)、化学(1件)、 医療(1件)	食品(3件)

下期

- 包装機とシステムの拡販を強化
- 販売促進活動
4月展示会
(中部パック)
- ・M3550型
- ・袋供給ロボット 等を出品

内2件; システムの一部は、
ロボット応用システムを納入

【包装機械】販売戦略

海外事業の拡大

- 中国子会社; 蘇州日技通用包装机械有限公司(中国・常熟市) (16/3月設立)

18/7期上期 売上高 1.4億円

- 販売体制の強化

・既存代理店(6社)の販売支援

▶ 下期; 新規代理店の開拓
(欧州、インド、中国等)
アメリカ市場の開拓強化

- ペットフード用包装機の拡大

・大手メーカーグループへの拡販
・その他メーカーの開拓

▶ 18/7期上期 売上4台、受注8台

▶ 下期; 中国メーカーへの受注活動強化

- 自社包装機受注 (単体)

18/7期上期 受注高 9億円(前年同期比 5.5億円増)

受注台数 18台(前年同期比 7台増)

- 新規顧客開拓の受注実績 (エンドユーザー)

16/7期	17/7期	18/7期上期
10社 (内1社 4カ国一括) 台湾、中国、タイ、 ベトナム、フィリピン	11社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア、アメリカ、韓国	8社 タイ、台湾、中国、ベトナム

【包装機械】開発・技術戦略

■開発テーマ <第5次中計>

- ①メカトロハイスpekク包装機と海外市場向け新機種の開発
- ②コア技術の強化
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

■新機種開発

メカトロハイスpekク包装機のシリーズ開発

GP-M3550型(同調ジョーゴ搭載高速充填包装) ⇒18/4月完成予定
(展示会へ出品)

業種ニーズに対応した新機種の開発

18/7期	大袋用新バージョンの開発	18/5月完成予定
	小袋用新機種の開発	18/6月完成予定

【生産機械】

受注体制と新規顧客開拓の強化

■ 受注活動

- ・大型プラントの受注確保
18/7期上期 4件(1社)



下期;大型プラントの製造
生産体制の強化

■ 包装機械との事業連携

- ・包装機械展示会へ共同出展

- ・親会社営業と情報共有、同行訪問
18/7期上期 売上実績 1件(機器)

■ 新規開拓

- 18/7期上期 受注実績 1件(小額機器)



ジャパンパック(17/10月)

中部パック(18/4月)出品予定

内部管理体制の強化

- 親会社と会計システムの統一化と運用スタート
- 人材確保・育成 等

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,583
包装用計量機	253
充てん機	446
びん詰機械	602
製袋充てん機	688
真空包装機	113
その他	1,480
外装・荷造機械	711
ケース詰機	174
その他	537
合計	4,295

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 52.2%
 ・化学部門 16.6%
 ・その他 19.0%
 ・輸出 12.2%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比
 5.2%増
 7年連続増

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2016年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	146
製粉機器	126
製めん機械	110
製パン・製菓機械	1,265
醸造用機械	144
乳製品加工機	593
飲料加工機械	236
肉類加工機械	217
水産加工機械	160
その他食品機械	2,212
合計	5,214

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 7.4%

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

前年比
 0.7%増
 5年連続増

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2016年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2018年1月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;139名(その他臨時雇用者24名)
連結;166名(その他臨時雇用者32名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 5名
社外取締役(監査等委員) 4名

証券コード;6267
東証JASDAQ・名証二部

■ 企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

販売

直販が中心

業界上位が中心

販売

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

生産機械

個別受注生産

包装機械

袋詰用包装機から包装システムまで

チョコレート製造機械

製菓機械等

給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

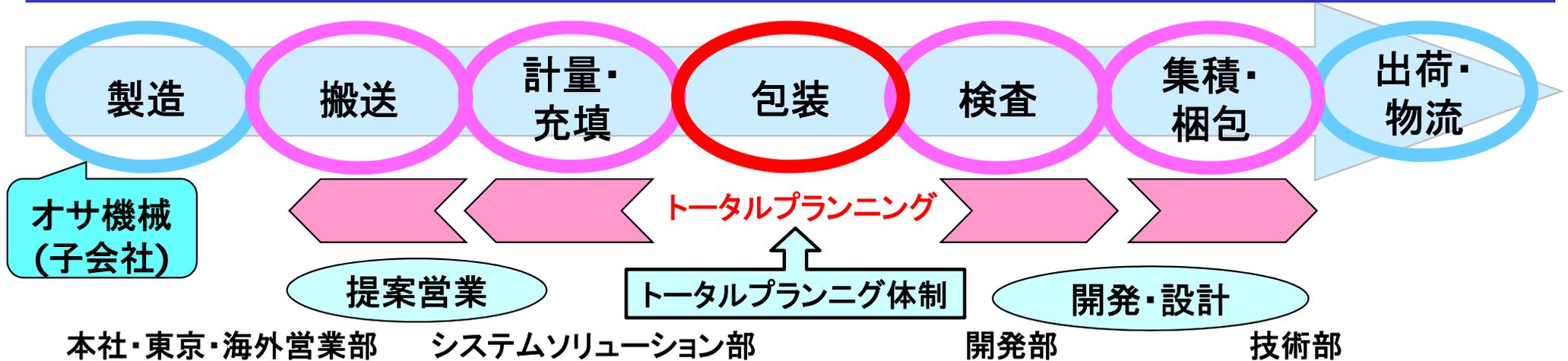
包装関連機器等

開発・設計・製造

仕入

(経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	13/7期末	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/7期末	18/1期末
従業員	124	127	131	135	139	139
(内 開発・技術部人員)	(38)	(40)	(42)	(42)	(43)	(42)
臨時雇用者※	19	16	19	18	23	24
合計	143	143	150	153	162	163

※パート、嘱託、派遣

連結人員合計(臨時雇用者含む)

193

198

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

